



# 環境活動レポート 2017

対象期間:2016年4月1日～2017年3月31日

発行日:2017年7月1日



新東北メタル株式会社

# 【 目 次 】

<b>1. 環境方針</b>	2頁
<b>2. 事業概要</b>	3頁
(1) 事業者名及び代表者名	
(2) 所在地	
(3) 活動範囲	
(4) 環境管理責任者及び連絡先	
(5) 事業内容	
(6) 事業規模	
<b>3. 活動計画と目標</b>	4頁
(1) 2017年度及び中期(2018年度)数値目標	
(2) その他取組の行動目標	
<b>4. 取組内容と結果</b>	5頁
(1) エネルギー投入量削減	
① 電力使用量削減	
② 化石燃料使用量削減	
(2) 水資源投入量及び排出量削減	
(3) 廃棄物総排出量及び最終処分量削減	
① 紙使用量削減	
② ショットブラスト投射材回収率向上	
③ グライNDER用砥石廃棄量削減	
④ 他	
(4) 化学物質排出移動量削減	
(5) グリーン購入推進	
(6) 環境保全意識向上	
(7) 地域環境への貢献	
<b>5. 活動の様子【写真集】</b>	6頁
<b>6. 実績と分析</b>	7頁
(1) 実績値と結果	
(2) エネルギー使用量及びCO <sub>2</sub> 排出量の推移	
(3) 2016年度結果の分析	
<b>7. 活動評価</b>	8頁
(1) 代表者	
(2) 管理責任者	
<b>8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無</b>	8頁
<b>9. 次年度の取組について</b>	9頁

# 環 境 方 針

## 基本理念

鋳鋼品の製造・販売を通して、自主的かつ継続的な環境保全活動に取り組み、広く社会に貢献する。

## 行動指針

1. 環境経営マネジメントシステムを構築・運用し効果的な活動□を行ないます。
2. 事業活動を通して発生する二酸化炭素・廃棄物・排水の削減を推進します。
3. 環境関連法規を遵守します。
4. システムの運用及び環境目標を定期的に見直し、継続的に改善を図ります。
5. グリーン購入の推進と地域環境への協力活動を行ないます。
6. 環境方針を全社員に周知徹底するとともに、環境保全・環境□改善に関する意識向上のための教育と啓発に努めます。

2017年4月1日  
新東北メタル株式会社  
代表取締役社長 平岡久

## (1) 事業者名及び代表者名

新東北メタル株式会社  
代表取締役社長 平岡 久

## (2) 所在地

本社・工場  
〒018-3301  
秋田県北秋田市綴子字上台121-2  
TEL:0186-62-2381 FAX:0186-62-2387  
H P : <https://www.shintohokumetal.co.jp/>

加工工場  
〒018-3331  
秋田県北秋田市鷹巣字本屋敷28  
TEL/FAX:0186-62-2403

## (3) エコアクション21の活動範囲

本社・工場及び加工工場(全組織、全活動対象)

## (4) 環境管理責任者名及び連絡先

責任者:総務部長 高橋 正直  
連絡先:TEL・FAX 所在地と同じ  
e-mail :m.takahashi.wi@shintohokumetal.com

## (5) 事業内容

鋳鋼品の製造・機械加工及び販売  
【建設機械、産業機械、橋梁、建築、造船、製鉄機械、他部品】

## (6) 過去3年間の事業規模

規模	単位	2014年度	2015年度	2016年度
資本金	千円	15,000	255,000	255,000
生産量	t	2,773	1,735	2,791
従業員数	人	92	87	83

環境方針及び現行負荷・取組内容等を踏まえ、実現可能と考えられる削減幅を設定し、目標としている。

(1) 2016年度及び中期(2018年度)数値目標

項目	単位	中期目標 (2018年度)	2015年度実績	2016年度目標
電力使用量	GJ/生産t × 1000	19, 530	22, 338	20, 104 (10%削減)
化石燃料使用量	GJ/生産t × 1000	10, 282	13, 236	11, 912 (10%削減)
二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub> /生産t × 1000	1, 749	2, 261	2, 035 (10%削減)
水使用量	m <sup>3</sup> /人	32. 1	24. 0	23. 3 (3%削減)
紙使用量	購入kg /生産t × 1000	135	262	183. 4 (30%削減)
産廃最終処分量	産廃t /生産t × 100	49. 4	69. 9	55. 9 (20%削減)
化学物質使用量 (クロム化合物)	使用t /生産t × 100	—	22. 3	21. 6 (1%削減)

(削減%は対2015年度値)

(2) その他取組の行動目標

- ・『グリーン購入の推進』  
エコマーク製品及びグリーンマーク紙製品の優先購入を継続する。
- ・『環境保全意識の向上』  
全従業員を対象に環境教育を実施する。
- ・『地域環境への協力』  
年1回、地域のクリーンナップ活動に参加する。

## 4. 取組内容と結果

【結果評価】 取組実施:○ 取組不足:△ 取組未実施:×

目標		取組内容	結果	状況
(1) 総エネルギー投入量削減	①電力使用量削減	事務所内空調の適正管理	○	夏期28℃、冬期20℃を継続
		昼を含めた休憩時の天井灯消灯	○	継続実施
		昼休憩時PCモニター電源オフ	○	継続実施
		昼休憩時コンプレッサー停止	○	継続実施
		電気炉溶解を連続実施	○	継続実施
	②化石燃料使用量削減	場内車両アイドリングストップ、エコドライブ実施	○	継続実施
		重油炉使用適正管理	○	バーナー清掃・熱漏れを定期確認
		灯油暖房器具使用適正管理	○	冬期室温20℃を徹底
		ガス炉使用適正管理	○	バーナー清掃・熱漏れを定期確認
(2)水資源投入量及び排出量削減		こまめな止水を朝礼時等に指導	○	継続実施
		『節水』表示	○	継続実施
(3) 廃棄物総排出量及び最終処分量削減	①紙使用量削減	コピー用紙に裏紙利用	○	継続実施
		会議資料はプロジェクター使用	○	継続実施
		配布資料はメールにてデータ配信	○	継続実施
	②投射材回収率向上	ショットブラスト投射材を回収し再利用	○	継続実施
		③グラインダー砥石廃棄量削減	砥石を限界まで使用	○
	研磨能力の高い砥石を使用		○	昨年度より採用
	④他	解砕時こぼれ砂の再利用	○	継続実施
		廃棄物分別の徹底	○	継続実施
(4)化学物質排出移動量削減(クロム化合物)		適正量使用に努める	○	継続実施
		こぼれを防止し適正保管	○	開封時・使用時に容器外へこぼさないよう注意する
(5)グリーン購入推進		消耗品は適合品を優先購入	○	継続実施
		事務用品はエコマーク及びグリーンマーク製品を優先購入	○	継続実施
(6)環境保全意識向上		定期的に環境教育を実施	○	年度内に2回実施
		部署別に活動を管理する	○	毎月実績を確認する
(7)地域環境への貢献		地域のクリーンアップ活動参加	○	年1回実施

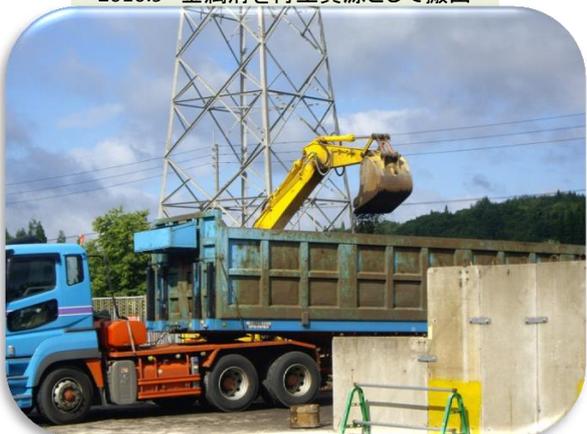
2016.4 クリーンアップ



2016.9 上期環境教育



2016.9 金属屑を再生資源として搬出



2016.11 避難訓練



2016.11 流出防止訓練



2016.11 消火訓練



2016.12 切粉を社内でリサイクル



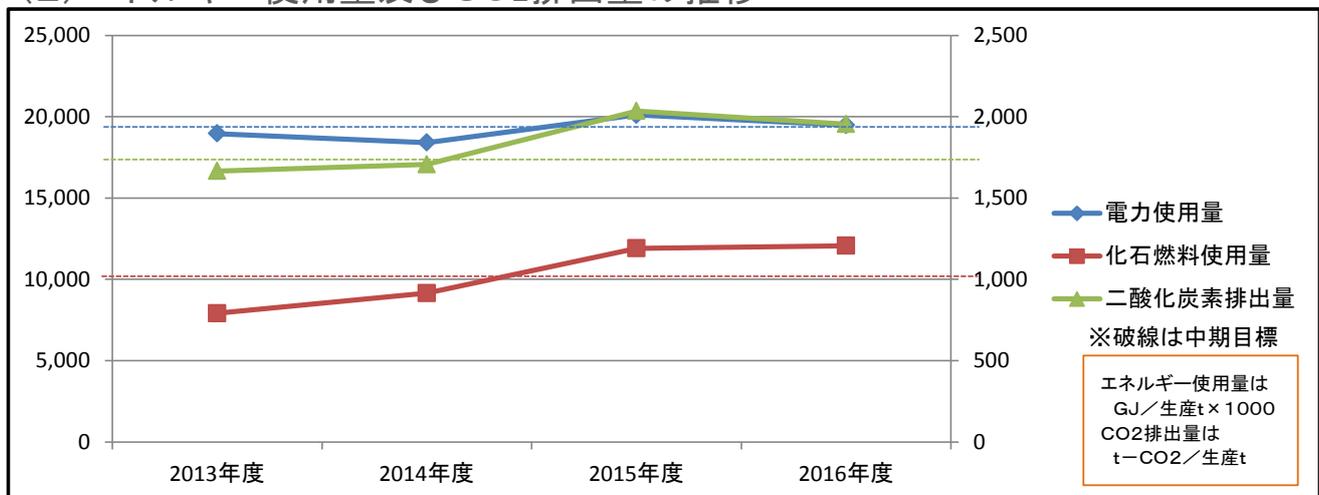
2017.3 購入エコマーク製品



## (1) 実績値と結果

項目	単位	中期目標 (2018年度)	2016年度目標	2016年度実績	結果
電力使用量	GJ/生産t × 1000	19,530	20,104	19,480 (3.1%減)	○
化石燃料使用量	GJ/生産t × 1000	10,282	11,912	12,059 (1.2%増)	×
二酸化炭素排出量	t-CO2 /生産t × 1000	1,749	2,035	1,955 (4%減)	○
水使用量	m <sup>3</sup> /人	32.1	23.3	22.9 (1.7%減)	○
紙使用量	購入kg /生産t × 1000	135	183.4	175 (5%減)	○
産廃最終処分量	産廃t /生産t × 100	49.4	55.9	44.4 (21%減)	○
化学物質使用量 (クロム化合物)	使用kg /生産t × 100	18.2	21.6	29.9 (38%増)	×

## (2) エネルギー使用量及びCO<sub>2</sub>排出量の推移



## (3) 2016年度結果の分析

### ① 電力使用量 【達成】

生産量増加に伴い効率的な電気炉運用を行なった事から、今年度目標及び中期目標を達成する事が出来た。今後も継続して適正な運用に努める。

### ② 化石燃料使用量 【未達】

納期に迫われ重油炉を多用した事から、使用量が大幅に増加し今年度目標に僅かに届かず。中期目標に近づけるべく、可能な限りガス炉活用に努める。

### ③ 二酸化炭素排出量 【達成】

電力使用量を抑えた事から達成出来た。更に中期目標を目指し活動を進める。

### ④ 水使用量 【達成】

節水運動及び入浴者減少により達成となった。

### ⑤ 紙使用量 【達成】

会議時等の紙資料配布を抑え、プロジェクターを活用し達成した。

### ⑥ 産廃最終処分量 【達成】

今年度及び中期目標も達成出来た。今後も適正処分に努める。

### ⑦ 化学物質使用量(クロム化合物) 【未達】

製品焼付き防止の為に、クロマイトサンド使用量が大幅に増加した事から未達となった。来年度も生製品の傾向は同様の為、適正量使用と共に目標見直しを図る。

## (1) 代表者

7項目数値目標に対して5項目で年度目標をクリアしており、昨年度よりも改善している。しかしながら、生産量の増加に伴い改善した項目があるため、生産量が減少しても後戻りしない仕組みが必要である。また、昨年度、中期目標をクリアしたのは3項目のみであり、化学物質使用量にあっては大幅な改善が必要である。環境に対する企業の社会的責任が重視されており、さらなる改善をはかるための知恵を出し、活動を推進することが求められる。

## (2) 管理責任者

生産量が一昨年並みに戻ったことから環境目標がほぼ達成できた。しかし、エネルギー削減や産廃量削減などについてあらたな活動手法は見つかっていないため引き続き調査、検討を継続していく。

## 8. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

取組期間中の環境関連法規遵守状況は、2017年3月にチェックリストで確認し、その結果は□下表の通りで法律違反は無かった。

行政・地域住民・その他からの訴訟も皆無である。

区分	法・条令等	規制内容	結果
総合	工場立地法	規模、内容、排出汚染物質抑制計画等の届出	○
大気汚染	大気汚染防止法	工場及び事業場から発生するばい煙等の排出を規制	○
	公害健康被害の補償等に関する法律	汚染負荷量賦課金の申告と納付	○
	秋田県公害防止条例第18条	硫酸化物排出量の規制	○
	特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律	フォークリフト、バックホウ等の排ガス規制	○
水質汚濁	水質汚濁防止法	漏油事故等の際、応急措置と届出の義務	○
	浄化槽法	浄化槽によるし尿処理等	○
	下水道法	公共下水道への排水	○
公害防止組織	公害防止組織整備法	公害防止統括者、公害防止管理者等任命の義務	○
廃棄物	廃棄物処理法	産業廃棄物と一般廃棄物の区分、規制措置、産廃管理票交付等状況報告書提出	○
	PCB特措法	2027.3.31までにPCB廃棄物を処分、毎年度保管・処分状況を報告	○
省エネ	省エネ法	エネルギー使用に係る規制	○
	秋田県地球温暖化対策推進条例	CO <sub>2</sub> 排出量等の報告書と排出抑制計画書の提出	○
保安	高圧ガス保安法	高圧ガスによる災害の防止に係る規制	○
	消防法	防火対策等に係る規制	○
労働	労働安全衛生法	労働災害防止及び労働衛生に係る規制	○

2016年度は、およそ7割程の項目に於いて目標を達成する事が出来た。過去最低の生産状況だった昨年度から、生産量が持ち直してきた事による部分が大いだが、これまで続けてきた地道な活動も一因となっている。

しかし、昨年度実績を基に見直した中期目標には届かなかった項目も多く、これを如何に目標に近づけるべく活動していくかが今後の大きな課題である。残念ながら現時点では大幅に改善を推進できる手法は考えられない為、

- ①『電気使用量削減』の為電気炉操業に於いて最大限に連続溶解し、電極破損や突発補修等のトラブルを未然に防止する。
  - ②『化石燃料使用量削減』の為に、ガス炉を最大限に活用する。
  - ③『産廃最終処分量削減』の為、分別を徹底し可能な限り再資源化を図る。
  - ④『化学物質(クロム化合物)使用量削減』の為、クロマイトサンド使用量を必要最低限に抑える。
- 等の基本的事項を確実にこなしていく。



当社生産部品が使用されている日立建機超大型ショベルEX5600と超大型ダンプEH5000